

代表質問通告表

令和元年第5回沖縄県議会(定例会)

09月27日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	16分	平良 昭一(おきなわ)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 沖縄21世紀ビジョン基本計画の総点検報告書(素案)について</p> <p>ア 米軍基地、経済成長、子供の貧困、観光振興、沖縄特例制度、人口・労働力、道路・交通、その他を検証し、改正したが、その特徴はどんなものか。</p> <p>イ 今後の計画推進課題はどのようなものがあるか。</p> <p>(2) 辺野古受注業者への防衛局OB天下りに対する見解と建設事業の妥当性や信憑性について伺う。</p> <p>(3) トークキャラバンの成果と今後の計画について</p> <p>(4) 米軍基地関係について</p> <p>ア 日米地位協定を抜本的に改定することは重要であるが、他国地位協定基地従業員の処遇はどうなっているか伺う。</p> <p>イ 米軍の本部港使用に対する認識と対応策について伺う。</p> <p>ウ グアム知事との会談とテニアン島からの誘致の動きについて知事の見解を求める。</p> <p>(5) 離島のガソリン価格格差解消に向けた取り組みについて伺う。</p> <p>(6) ベトナム琉球文化工芸村移転について</p> <p>ア 県としての支援体制は考えられないか伺う。</p> <p>2 観光関係について</p> <p>(1) 冬場の観光客誘致政策について伺う。</p> <p>(2) 観光収入と県内個人消費額の拡大に向けた施策の推進について伺う。</p> <p>(3) 北部観光プロジェクトについて</p> <p>ア 高速艇導入の課題について伺う。</p> <p>イ ロープウエー建設について伺う。</p> <p>ウ ブセナ海中展望塔改修について伺う。</p> <p>(4) 2020年ツーリズムEXPOジャパン開催について伺う。</p> <p>(5) レンタカー業者急増について</p> <p>ア 県内業者の数と台数。</p> <p>イ 価格競争、事故増加等県民生活への影響について伺う。</p> <p>3 環境部関係について</p> <p>(1) ジュゴン死亡の処置マニュアルについて伺う。</p> <p>(2) 生物多様性の保全上重要な情報収集・調査研究・教育普及の拠点となる国立自然史博物館設立の状況と課題について伺う。</p> <p>(3) 犬・猫殺処分ゼロに向けた取り組みについて伺う。</p> <p>(4) 住宅に大量の廃棄物などがある、いわゆる「ごみ屋敷」の県内の状況と対策について伺う。</p>			

4 子ども生活福祉部関係について

- (1) 10月から始まる幼児教育・保育の無償化について伺う。
 - ア 各市町村の実施に向けた状況はどうか。
 - イ 市町村単位の違いがあるがその集約はどうするのか。
 - ウ 不公平さについての意見があるがどうか。
 - エ 予想される課題と対策について伺う。
- (2) 本部町健聖に埋葬された戦争被害者の遺骨収集について伺う。
- (3) フィリピン、南洋諸島慰霊祭等について
 - ア 今後の慰霊祭のあり方について伺う。
 - イ 戦没者遺骨DNA鑑定について伺う。
 - ウ 歴史的経緯を踏まえた人材交流について
 - エ ダバオとの姉妹都市提携について
 - オ フィリピン・サイパン両地域の直行便について
- (4) 母子家庭等生活支援モデル事業の成果と課題について伺う。

5 保健医療部関係について

- (1) 北部看護学校運営の課題について伺う。
 - ア 名桜大学への編入は怎么样了か。
 - イ 地域医療への貢献度はどのようなものか。
- (2) 県立北部病院の現状について
 - ア 現在の診療科の運営状況と今後休診が予想される診療科について
 - イ 北部地域から中南部地域への患者の紹介状況について
 - ウ 北部基幹病院整備の状況について
- (3) 民泊について
 - ア 条例制定後の成果と課題について伺う。
 - イ 市町村間での認識が大分違うがその対策はどうなっているか。
- (4) タイワンハブ対策について
- (5) 手足口病の報告が増加しているが県内の状況と対策について伺う。
- (6) 未成年者の自殺について
 - ア 県内の状況を伺う。
 - イ 原因・動機について伺う。
 - ウ 対策について伺う。

6 土木建築部関係について

- (1) 不調・不落の状況と対策について伺う。
- (2) 西海岸道路の進捗について伺う。
- (3) 伊平屋・伊是名架橋について伺う。
- (4) 伊平屋空港建設についての進捗状況について伺う。
- (5) 国際クルーズ港湾整備について伺う。
 - ア 那覇港、中城湾港、平良港、石垣港、本部港の進捗状況と課題について伺う。

7 公安委員会関係について

- (1) 交通ルール意識について
 - ア 自転車信号遵守、一時停止、夜間のライト使用の調査等は行ったことがあるか伺う。
 - イ 自転車関係する交通事故の種類と件数を伺う。
 - ウ 沖縄自動車道の追い越し専用車線の認識について伺う。

- (2) 米軍関係者Yナンバー車違法白タク行為について
 - ア 組織的違法サービスの背景について伺う。
 - イ 県外の状況はどうか伺う。
 - ウ 対策はどのようにとっているか伺う。
- 8 座間味浄水場の問題について
座間味浄水場の建設について、これまでの経緯を踏まえ、現状を伺う。
- 9 県内電話市外局番統一について(098と0980の仕組みの違いについて)

代表質問通告表

令和元年第5回沖縄県議会(定例会)

09月27日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	15分	玉城 満(おきなわ)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 米軍再編に伴う知事の対日、米政府へのアクションについて伺う。(2) 辺野古埋立阻止に向けた新たな知事のアクションについて伺う。(3) 日米地位協定の見直し、進展に向けた知事のアクションについて伺う。(4) 沖縄県の一国二制度導入について知事の見解を伺う。(5) 観光・環境協力税(仮称)導入の意義について知事の見解を伺う。(6) 世界のウチナーンチュ会館(仮称)の設立について知事の見解を伺う。(7) 琉球歴史文化の日制定の意義について知事の見解を伺う。(8) 知事の離島訪問の進捗と今後の予定について伺う。(9) アジアにおける友好都市締結について伺う。(10) 観光問題解決のため、知事の韓国訪問は必須と考えるが見解を伺う。 <p>2 総務部関連について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 沖縄県の国税収納額の推移について伺う。(2) 県の自主財源率の推移について伺う。(3) 消費税増税後の県内経済への影響について伺う。 <p>3 公共交通関連について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 鉄軌道を含む新たな公共交通システム導入事業について<ul style="list-style-type: none">ア 進捗について伺う。イ 政府との調整について伺う。ウ 費用便益率について伺う。(2) 沖縄地方渋滞対策推進協議会の取り組みについて伺う。(3) 那覇一粟国路線再開について<ul style="list-style-type: none">ア 再開に向けた県の取り組みについて伺う。イ 再開時期について伺う。 <p>4 環境部関連について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 沖縄県希少野生動植物保護条例の制定に向けた取り組みについて伺う。 <p>5 子ども生活福祉部関連について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 保育士不足の解消について伺う。(2) 児童虐待、DV等県管轄の相談室、駆け込み寺等の種類、数、役割、実績、課題について伺う。(3) 沖縄子どもの未来県民会議の実績と課題について伺う。(4) 子供の貧困対策の民間の取り組みについて伺う。 <p>6 保健医療部関連について</p>			

- (1) 長寿県沖縄復活の取り組みについて
 - ア 実績と課題について伺う。
 - イ 上位復活の時期について伺う。
 - ウ 県民運動の取り組みについて伺う。
- (2) 沖縄県地域医療介護総合確保基金事業について
 - ア 高齢福祉施設の「介護施設等の施設開設準備経費等支援事業」について伺う。
 - イ 身体障害者支援施設の同補助事業適応について伺う。
- 7 農林水産部関連について
 - (1) 県農業、林業、水産業の各生産高の推移について伺う。
 - (2) 同6次産業の生産高の推移について伺う。
 - (3) 農林水産物の県内自給率について伺う。
 - (4) 熱帯果樹の輸入と県内生産比率について伺う。
 - (5) 豚コレラ対策について伺う。
- 8 商工労働部関連について
 - (1) 外国人技能研修について
 - ア 県内事業所での人数について伺う。
 - イ 課題について伺う。
 - ウ 今後の傾向について伺う。
 - (2) 駐留軍離職対策センターについて
 - ア 離職センターの進捗について伺う。
 - イ 隣接する駐留軍健康保険組合の駐車場確保について伺う。
 - (3) 労働環境について
 - ア 正規雇用拡大に向けた施策について伺う。
 - イ 労働条件・労働環境実態調査の結果とその対策について伺う。
- 9 文化観光スポーツ部関連について
 - (1) 日韓摩擦による観光影響について伺う。
 - (2) 那覇空港ターミナルの課題等について伺う。
 - (3) 第2滑走路有効活用に向けた県の対応・対策について伺う。
 - (4) 那覇空港周辺整備について伺う。
 - (5) 復帰50年記念イベントについて伺う。
- 10 土木建築部関連について
 - (1) 県内都市計画区域の再編について伺う。
 - (2) 県社会資本整備事業の予算の推移について伺う。
 - (3) 土木建築従事者不足対策について伺う。
- 11 教育委員会関連について
 - (1) 働き方改革後の教育現場における労働環境の課題について伺う。
- 12 公安委員会関連について
 - (1) 県警本部、各警察署の遺失拾得物及び証拠品保管庫の現状について伺う。

代表質問通告表

令和元年第5回沖縄県議会(定例会)

09月27日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	23分	比嘉 瑞己(日本共産党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) ことし7月の参議院沖縄選挙区では、「オール沖縄」の高良鉄美候補が圧倒的勝利をおさめ、辺野古新基地建設反対の揺るぎない沖縄の民意が示された。また、全国32の1人区全てで野党統一候補が実現し10選挙区で勝利した。5野党・会派が市民連合との間で合意した「共通政策」では、辺野古新基地建設の中止、普天間基地の早期返還・撤去、日米地位協定の改定などが合意され、「オール沖縄」が「オール・ジャパン」へと大きく広がった。参議院選挙結果の見解を問う。
- (2) 辺野古新基地建設問題は「関与取消訴訟」と「抗告訴訟」という2つの重要な法廷闘争を迎える。日本の地方自治と民主主義を問う歴史的な法廷闘争に臨む知事の決意を問う。
- (3) 知事の全国トークキャラバンの成果と今後の計画について問う。また、知事の訪米行動の目的と決意を問う。
- (4) 安倍政権のもとで日韓関係が悪化しているが沖縄県への影響はどうか。両国の友好関係を構築していくために、県は積極的な役割を担うべきである。県の見解を問う。
- (5) 在沖海兵隊は本部港を使用した訓練を計画していたが、地域住民の抗議によって中止に追い込まれた。県は今後とも米軍による民間港や空港の軍事利用を認めるべきではない。県の見解を問う。

2 沖縄振興について

(1) 来年度沖縄関係予算の概算要求について

- ア 沖縄振興の原点は、苦難の歴史を歩んできた沖縄への「償いの心」であり、基地問題とリンクすることがあってはならない。来年度沖縄振興予算概算要求の概要について問う。
- イ 沖縄の自立的発展のためには、振興予算が本土に還流する仕組みから脱却し、公共工事の地元優先発注など、県内で循環、蓄積される仕組みが必要である。県の見解と対応を問う。
- ウ 概算要求で沖縄振興予算の総額を決め、国直轄事業予算を優先的に確保した後で、残りを一括交付金に充てる政府の手法は、市町村の用途の自由度が高い沖縄一括交付金制度の趣旨をゆがめるものであり許されない。一括交付金減額の具体的影響と対策について問う。
- エ 県を通さずに市町村に直接交付する特定事業推進費は、国の恣意的運用を強め地方自治をゆがめるものである。県の見解を問う。

- (2) 県経済・雇用の動向と県民所得の推移を問う。中小企業を支援して最低賃金1000円を実現することや、正規雇用の促進などで「雇用の質」を改善し県民所得向上を図るべきである。
- (3) 県土の均衡ある発展、交通渋滞解消のためにも南北縦貫鉄軌道の実現、次世代型路面電車を含む新たな公共交通システムの導入が急がれている。進捗状況を問う。
- (4) 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録について、秋には国際自然保護連合(IUCN)の現地調査が予定されている。県はリーダーシップを発揮して今回こそ世界自然遺産登録を実現すべきである。特に米軍北部訓練場については訓練空域を含めて全面返還を求めるべきである。県の見解を問う。

- (5) 生物多様性に富む沖縄に「国立自然史博物館」をつくる意義と取り組みについて、県の見解を問う。
- (6) 国が「種子法」を廃止後、都道府県独自の条例制定が取り組まれている。優良な種子生産体制を維持するためにも、県も条例を制定すべきである。県の見解を問う。
- (7) 県土の無秩序な開発を防止する県土保全条例を改正し、持続可能な地域社会の実現を目指すべきである。県の見解を問う。

3 辺野古新基地建設問題について

(1) 政府の「建設ありき」の異常な姿勢について

- ア 防衛省が軟弱地盤の改良工事のために作成した調査報告書は、大規模地震を想定した検討は行われていない。新基地の機能や沖縄県の災害予測からも、防衛省の調査報告書は異常な過少評価ではないか。県の見解を問う。
- イ 政府の軟弱地盤に関する技術検討委員会は、8人の委員のうち4人が国土交通省や防衛省とかかわりがある人物であり、公正中立な検討は不可能である。県の見解を問う。
- ウ 沖縄防衛局が移植した絶滅危惧種のオキナワハマサンゴ3群体が死滅した。環境監視等委員会が政府の追認機関となり、工事強行に加担していることが原因である。沖縄県は今後一切のサンゴ特別採捕許可を認めるべきではない。県の見解を問う。
- エ 沖縄防衛局が工事費の大半を占める資材単価を、事前に入札参加希望業者に伝える官製談合疑惑が報道された。県の見解を問う。
- オ 指定暴力団が新基地建設工事への関与を画策していたことが報道された。巨額な工事費をめぐる反社会的勢力が関与する恐れがある。見解と対応を問う。

- (2) 大浦湾の軟弱地盤について改良が必要な面積を問う。海面下90メートルの軟弱地盤に、7万7000本もの砂ぐいを打ち込む工事は実現不可能ではないか。防衛省の地盤改良に関する報告書への県の見解を問う。

4 米軍基地問題について

- (1) CH53E大型輸送ヘリの窓落下事故後、原因究明もされないまま米軍は飛行訓練を再開した。県民の気持ちに寄り添うことができず、米軍に飛行自粛すら求めることができない政府の姿勢について見解を問う。
- (2) 普天間基地所属機の老朽化について見解を問う。政府が新基地建設に固執するほど普天間基地の危険性は放置される。移設条件つきではない閉鎖撤去こそ唯一の解決策ではないか。県の見解を問う。
- (3) 米軍基地周辺の河川などから残留性有害物質PFOS等が高濃度で検出されていることについて、国に水質基準値の設定と抜本対策を求めるべきである。また、県としても安全な水の供給と不安解消に努めるべきである。見解と対応を問う。
- (4) 東村高江のヘリパッド建設によって騒音問題などの負担軽減は進んだか。地域住民の暮らしを守るために、高江ヘリパッドの撤去を求めるべき。県の見解を問う。

5 日米地位協定の改定について

沖縄県による他国地位協定の調査報告によって、7月に開催された全国知事会ではどのような議論が行われたか。全国へと広がった日米地位協定改定を求める声をさらに大きくするための取り組みが求められている。今後の計画を問う。

6 先島諸島への自衛隊配備問題について

- (1) 集団的自衛権の行使を認める安保法制が施行され、自衛隊の役割は大きく変質した。知事の見解を問う。
- (2) 自衛隊配備や機能強化が進められることに住民の不安は大きい。軍事的緊張を高めるような自衛隊配備や機能強化に反対すべきである。県の見解を問う。
- (3) 尖閣諸島をめぐる領土・領海問題については、歴史的事実と国際法にのっとり、冷静かつ平和的な外交交渉で解決を図るよう、国に求めるべき。県の見解を問う。

7 那覇軍港移設問題について

那覇軍港の浦添市移設問題は、北側案であれ南側案であれ、民間港である那覇港の発展や沖縄経済発展の阻害要因となる。遊休化した那覇軍港は移設条件つきではない早期返還を求めるべきである。県の見解を問う。

8 子育て支援について

- (1) 子ども医療費助成制度の対象年齢を引き上げるべきである。市町村との調整状況と今後の計画を問う。
- (2) 就学援助制度における入学・進学前準備金の支給を推進すべきである。実施状況と県の支援について問う。
- (3) 待機児童の現状と保育士不足による影響を問う。経験年数に応じた昇給など保育士の待遇改善を進めるべきである。県の見解を問う。
- (4) 幼児教育・保育の無償化に伴う、給食費の保護者負担の動向について問う。県として給食費無償化を支援すべきである。県の見解を問う。
- (5) 県内の児童虐待の現状について問う。児童福祉司や心理士などの本務職員をふやし、児童相談所の体制を強化すべきである。県の見解を問う。

9 国民健康保険制度について

- (1) 2018年度国保会計決算の概要について問う。特に市町村自治体の実質的赤字の実態と原因について見解を問う。
- (2) 沖縄県の国保財政悪化の原因は、前期高齢者交付金の制度的欠陥が原因である。制度開始からこれまで一般会計から国保会計への法定外繰り入れの総額は幾らか。政府の責任を明確にして財政支援を求めるべきである。県の見解を問う。
- (3) 政府の要求どおりに「統一保険料」を目指すとなれば、実質的には市町村に国保料の大幅引き上げを求める圧力となり、既に市町村では値上げが相次いでいる。県の統一保険料の運営方針を廃止すべきである。県の見解を問う。
- (4) 全国知事会が要求しているように、国庫負担割合の引き上げや、公費1兆円の投入で「協会けんぽ」並みに引き下げのように、国に求めるべきである。県の見解を問う。
- (5) 同時に県としても、均等割りの廃止や、国保会計への政策的繰り入れを行うべきである。県の見解を問う。

10 北部基幹病院の実現について

北部地域において救急医療や不採算性医療を担い、医療体制を安定確保するために県立北部基幹病院として早期に実現すべきである。進捗状況と今後の取り組みについて問う。

11 教育行政について

- (1) 少人数学級の教育的効果と達成状況について問う。小中学校全ての学年で少人数学級を実現すべきである。来年度の計画を問う。
- (2) 子供たちの豊かな学力を保障するために教員定数を抜本的にふやし、教師の多忙化を解消すべきである。県の見解を問う。
- (3) 全国学力テストは子供と教師を点数による激しい競争に追い込むものである。毎年悉皆調査を行う必要性はなく、抽出調査や不参加を含めた見直しが必要である。県の見解を問う。
- (4) 全国学力テストだけでなく、定期テストや単元テスト、全県的調査も実施している。学校現場の負担を考え、テストや調査の回数を削減すべきである。県の見解を問う。
- (5) 公立夜間中学設立に向けた進捗状況を問う。
- (6) 国は特別支援学校の「設置基準」を設けていない。開校予定の那覇市の特別支援学校について、最善の教育環境を整備すべきである。県の見解を問う。

12 防災行政について

- (1) 台風13号による宮古島被害の概要について。県の見解を問う。
- (2) 離島における近年の台風停電被害や損失額について問う。防災対策として電線地中化を抜本的に進めるべきではないか。県の見解を問う。
- (3) 千葉県を襲った台風15号による長期間の広域停電被害の教訓をどう活かすか。県の課題と対策を問う。
- (4) 再生可能な自然エネルギーへの転換を進め、災害時に備えた蓄電地を整備すべき。県の見解を問う。

13 基本的人権の尊重について

- (1) LGBTなど性的マイノリティに対する差別をなくし、誰もが自分らしく生きられる共生社会について、県の取り組みを問う。
- (2) 裁判所の令状がないのに、県内の市立図書館が警察に個人情報を提供していた。県や市町村においては、令状に基づかない個人情報の提供はどれくらいあるのか。憲法で保障された思想信条の自由を侵害するものであり許されない。見解と対応を問う。

14 県有地の有効利用について

旧県立図書館、那覇市立中央公民館・図書館、那覇市民会館、与儀公園の地域は、那覇市民だけでなく県民にとっても親しみのある県都の中心地域である。県有地である同地域について、県は那覇市と協働して再整備計画を策定すべきではないか。県の見解を問う。

代表質問通告表

令和元年第5回沖縄県議会(定例会)

09月27日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	16分	金城 泰邦(公明党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 基地問題について</p> <p>(1) 2013年の統合計画で示された在沖米軍基地の返還計画の推移と、跡地利用計画の取り組みはどうなっているのか伺う。</p> <p>2 浦添西海岸開発について</p> <p>(1) 沖縄県アジア経済戦略構想に示されているコースタルリゾート構想は、どのような戦略を描こうとしているのか、県の見解を伺う。</p> <p>(2) 浦添西海岸地域の埋立事業は、隣接するカーミージの海岸地域の保全と一体となった埋立事業であり、過去の計画変更の変遷をたどると環境に配慮してきたことが理解できる。今後の環境配慮の取り組みについて伺う。</p> <p>3 安全・安心対策について</p> <p>(1) 来年の東京2020オリンピック・パラリンピックに向けての安全対策と防犯対策について、防犯カメラのさらなる設置が必要と考えるが県の見解と取り組みについて伺う。</p> <p>4 経済施策について</p> <p>(1) 人手不足問題への対応について</p> <p>ア 沖縄県のあらゆる業界で人手不足の問題が深刻である。経済振興を推進するためにも人手不足を補完する外国人労働者の受け入れがスムーズに行われる必要があると考える。全国的な事例で報道されているブラック企業の状況は沖縄県にはないのか、外国人労働者はきちんと守られているのか伺う。</p> <p>5 交通施策について</p> <p>(1) 交通政策について</p> <p>ア 高校生通学実態調査事業の進捗状況について伺う。</p> <p>イ バスの既存路線以外の路線をカバーするデマンド交通の必要性について伺う。</p> <p>ウ バス停の操業時間外(夜間等)をタクシー乗り場に活用することについて伺う。</p> <p>エ 自動二輪車の通行帯規制(第一通行帯)は沖縄県で実施されているが、一部の地域で規制をかけて取り締まることについて法体系として問題はないか伺う。</p> <p>6 土木行政について</p> <p>(1) 本部港クルーズバースの進捗について伺う。</p> <p>(2) 本部町の国道449号の拡幅(4車線化)の早期整備について伺う。</p> <p>7 環境行政について</p> <p>(1) 知事の公約である殺処分ゼロの取り組みの進捗状況について、殺処分ゼロ実現のめどはいつなのか。また、本島北部おける希少種動物の保護の取り組みとの整合性はどうか伺う。</p> <p>(2) 動物愛護センターのシェルターの進捗状況について伺う。</p> <p>8 保健医療行政について</p> <p>(1) 北部基幹病院の取り組みの進捗状況について伺う。</p>			

- (2) 緊急搬送を受け入れた県立病院の実績と民間病院の実績の比較について伺う。
- (3) 県内圏域ごとの病床数の設定根拠は何か。実際の需要量と供給量はリンクしているか伺う。
- (4) 医療費の主たる増加要因と言われている透析治療の予防策として、糖尿病患者の早期発見・早期治療を推進するために国保連合会との連携強化を図ることについて伺う。
- (5) 子供医療費の無料化を中学卒業まで拡大することについて伺う。

9 福祉行政について

- (1) 就労支援事業所の設置要項に耐震構造を満たした建物を義務づけることで設置が困難となっている状況を改善することについて伺う。
- (2) 相談支援専門員が不足し障害者の施設利用に支障を来している。同じ福祉サービスを提供する相談支援専門員の処遇がケアマネージャーと比較して低過ぎることが原因と考える。相談支援専門員の処遇を改善することについて県の見解を伺う。
- (3) 放課後児童クラブの学童を利用したくても保育料が高くて利用できない低所得層に、保育料の補助を創設して学童の利用を推進することについて県の見解を伺う。

10 教育行政について

- (1) 大阪市西成区では普通高校に重度知的障害児を通学させるインクルーシブ教育制度が実施されている。沖縄県でも普通高校に通いたい重度知的障害児を入学させる制度が実施できないか伺う。
- (2) 高校入試(一般入試及び推薦入試)の評価基準について、生徒の学びの姿勢をどのような方法で評価しているか。また高校入試の新制度の内容について伺う。